

令和3年度

香川の祭礼・民俗芸能

活動報告書



令和3年度文化庁文化芸術振興費補助金(地域文化財総合活用事業)

修理前



修理前は長年の使用により眉毛、髭、顔の毛が抜け落ちていた。口周りの漆塗りが剥げていた。



長年の使用により、黒毛が擦り減っている。獅子頭の牙の塗が剥げている。



長年の使用により塗が剥げていた。獅子頭の目の可動部分が動きにくい、耳、顎の紐が切れかかっていた。

修理後



修理により、眉毛、髭、顔の毛が植え替えた。口周りの漆塗りが塗り替えられた。獅子頭の髭は正規の10本に修繕した。鼻の中心にある赤い毛は、自分達で付けたもので、修理後は外した。



修理により黒毛が補修された。獅子頭の牙の塗が補修された。



修理により塗り替え、目の可動部分修繕、耳、顎の紐を修繕した。

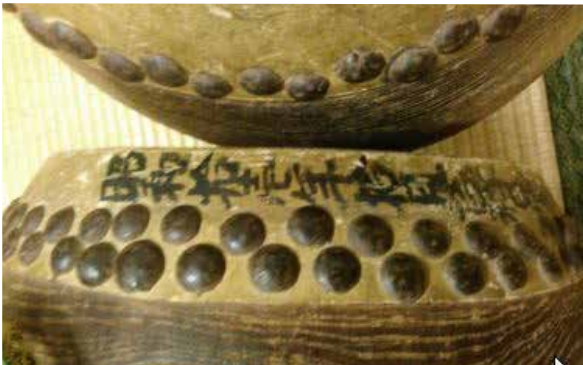
【修理概要】

長年の使用により使用不可手前の状態だったが、漆塗り替え、新しい毛植毛、目の可動部分修繕、可動部の紐の付け替え等の修繕により、獅子頭に表情が出て使用良好状態に復元された。

修理前



修理後



【修理概要】

長年の使用により皮が破れるなどの使用不可状態だったが、皮の張り替え、胴の塗装などの修繕により使用良好状態に復元された。

修理前



眉毛、髭の毛が抜け落ち、口回りの漆塗りが剥げ落ちている。



土台の一部が折れている。漆塗りの剥げがあり、耳、顎の紐が切れかかっている。



顎、牙の口回りの漆塗りが剥げ落ちている。

修理後



眉毛の植え替え、髭は正規の10本に修繕、口回りの漆塗りの塗り替えを行った。



獅子頭の土台の一部を修繕、漆塗りの塗り替え、耳顎の紐の修繕を行った。



顎、牙の口回りの漆塗りを修繕を行った。

修理前



眉毛、髭、顔の毛が抜け落ち、口回りの漆塗りが剥げている。



獅子頭の顎、牙の口回りの漆塗りが剥げている。



漆塗りが剥げ、耳顎の紐が切れかかっている。

修理後



髭の毛の植え替え(正規の10本に修繕)、口回りの漆塗りの塗り替えを行った。



獅子頭の顎、牙の口回りの塗りを補修を行った。



漆塗りの塗り替え、耳顎の紐を修繕を行った。



現在の状態

頭の下地の枠が全体に脆弱化している。

修理予定内容

全体的に漆塗り替えの修理をする。



現在の状態

漆と金箔が剥がれ落ちている。髪の毛と耳の欠損がある。

修理予定内容

漆の塗替えと金箔の張り替え及び髪の毛の植え替えと耳の復元。



現在の状態

漆と金箔が剥がれ落ちている。下顎の欠損、牙の破損がある。

修理予定内容

漆の塗替えと金箔の張り替え及び下顎の復元、牙の修理。



現在の状態

漆が剥がれ落ちている。

修理予定内容

漆の塗替。

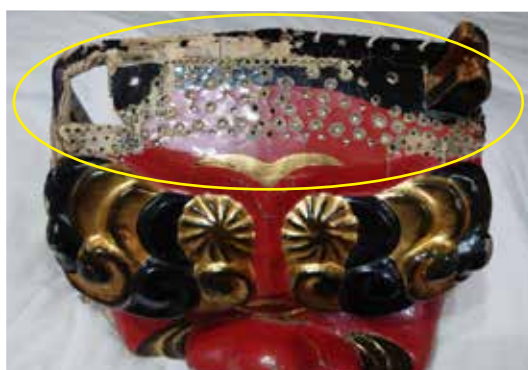


現在の状態

漆と金箔が剥がれ落ちている及び目の欠損、鼻から上顎周辺の破損がある。

修理予定内容

漆の塗替えと金箔の張り替え及び目の復元、鼻から上顎周辺の下地を補強し修理。



現在の状態

漆と金箔が剥がれ落ちている及び髪の毛と耳、耳台の欠損がある。

修理予定内容

漆の塗替えと金箔の張り替え及び髪の毛の植え替えと耳、耳台の復元。

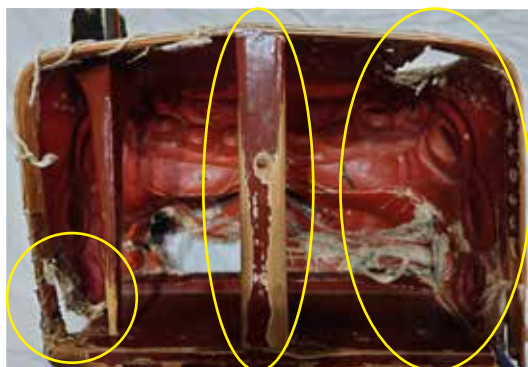


現在の状態

漆と金箔が剥がれ落ちている及び鼻から上顎周辺の破損、下顎の欠損、牙の欠損がある。

修理予定内容

漆の塗替えと金箔の張り替え及び鼻から上顎周辺の下地を補強し修理、下顎の復元、牙の復元。



現在の状態

漆が剥がれ落ち及び耳台の欠損、左頬の破損がある。

修理予定内容

漆の塗替え及び耳台の復元、左頬の修理。

修理前



左顎の劣化、
牙の破損。



右顎の劣化、
牙の破損。



耳の大部分の
損傷。



全体の漆、金箔
の剥がれ、鼻の
損傷。

修理後



左顎の補修、
牙の取替え。



右顎の補修、
牙の取替え。



耳の取替え、
耳取付軸の
取替え。



全体の漆塗り、
金箔張り、鼻の
補修、植毛。

修理前



経年の使用により多数の傷が見られた。

修理後



全面塗り直しによる補修を行った。



顎部についても同様に傷が見られた。



全面塗り直しによる補修を行った。



髪の毛の脱落及び耳部の損傷が見られた。

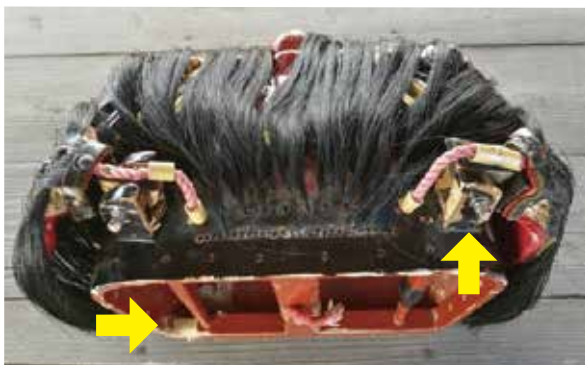


毛を付け替えと共に耳と紐の補修・塗装を行った。

修理前



経年の使用により全面に多数の傷が見られた。



頭部の耳立て、内部についても激しい損傷が見られた。



髪の毛の脱落及び耳部の損傷が見られた。

修理後



全面塗り直しによる補修を行った。



全面塗り直し、金具の交換による補修を行った。



毛を付け替えと共に耳と紐の補修・塗装を行った。

修理前



目の位置がずれている。



あご他ひび割れ、漆の剥げがある。



耳・頭・顔等の脱毛がある。



内部可動(目・耳・口)が動きにくい。

修理後



顔を補修し、漆塗りをして毛の植毛を行った。目を補修し、位置を調整した。



下あごのひび割れを補修、漆塗りを行った。



髪を植毛し、耳を補修するとともに、耳の脱落部分を取り替えた。



左側持ち手のところ及び内部の損傷部分を補修し、漆塗り。目、耳、口の可動部を補修した。

修理前



耳・頭・顔等の脱毛が見られる。



あご他ひび割れ、漆の剥げがある。



耳・頭・顔等の脱毛がある。



内部可動(目・耳・口)が動きにくい。

修理後



顔を補修し、漆塗りをして、毛の植毛を行った。



下あごのひび割れを補修、漆塗りを行った。



髪のを植毛し、耳を補修するとともに、耳の脱落部分を取り替えた。



左側持ち手のところ及び内部の損傷部分を補修し、漆塗り。目、耳、口の可動部を補修した。

修理前



修理後



鬚が抜けているので植毛。

修理前



修理後



右耳の取り替え。



両側口部分の傷、両牙の塗装の剥がれ。



内面の漆塗り。



下あごの塗装および植毛。



左頬の漆塗りおよび植毛。



左耳の取り替え。

修理前



修理後



正面の眉の取替え。



左耳の補修。



右耳の補修。

修理前



修理後

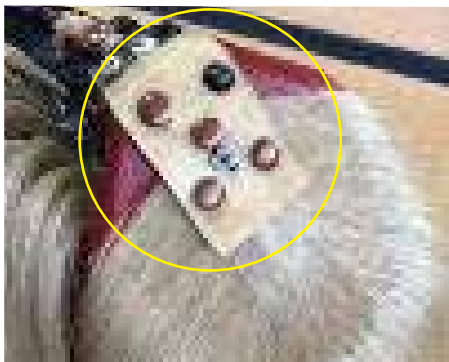


内面の漆塗り。



顎の取替え。

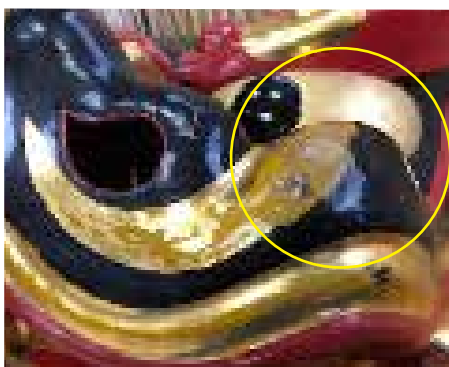
修理前



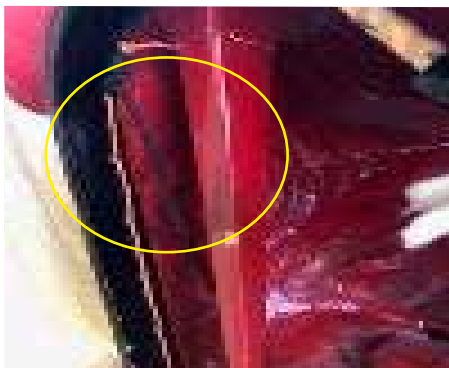
修理後



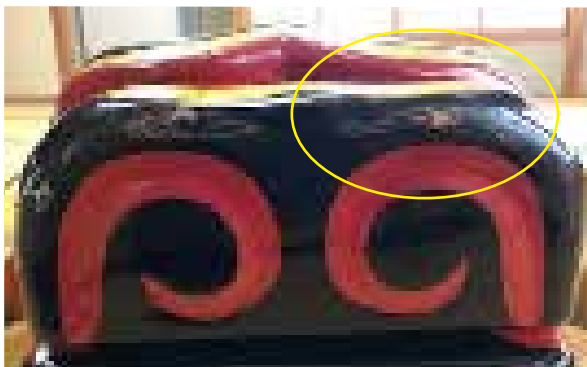
耳の毛をまとめる鉤の交換を行った。



損傷箇所の修繕・塗装、金箔の張り替えを行った。



油単を結合する部分の紐を新調した。



損傷箇所の修繕・塗装を行った。

修理前



修理後



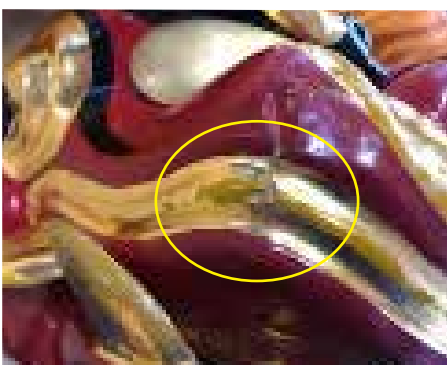
耳の毛をまとめる鉤の交換を行った。



損傷箇所の修繕・塗装、金箔の張り替えを行った。



油単を結合する部分の紐を新調した。



損傷箇所の修繕・塗装、金箔の張り替えを行った。

修理前



修理後



修理前



修理後



【修理概要】

- ・牙・歯・目・鼻等の割れ・破損を修繕し、きれいに漆が塗りなおした。
- ・耳が壊れ外れていたのを修繕し、新しい耳を付けた。
- ・毛が抜けたり剥げ落ちていたのを綺麗に植毛した。
- ・内側の操作部分も修繕され、正常に動作するようになった。

修理前

太鼓(中)



経年劣化で、胴回りと金具の劣化。皮に破れが生じており使用できない状態。

修理後



破れた皮の張替え、胴回り金具の補修により再び使用可能になった。

太鼓(横1)



経年劣化で、胴回りと金具の劣化。皮に破れが生じており使用できない状態。



破れた皮の張替え、胴回り金具の補修により再び使用可能になった。

太鼓(横2)



経年劣化で、胴回りと金具の劣化。皮に破れが生じており使用できない状態。



破れた皮の張替え、胴回り金具の補修により再び使用可能になった。

修理前



修理後



修理前



修理後



【修理概要】

- ・獅子頭欠損箇所(耳の割れ・外れ、目の脱落、歯、牙、顎)の修復、取り換えを行った。
- ・漆塗り(ひび割れ・剥がれた場所の色に合わせる)を行った。
- ・植毛(欠損箇所の長さ、色に合わせて植毛)を行った。
- ・可動部の動作確認・調整を行った。

修理前



修理後

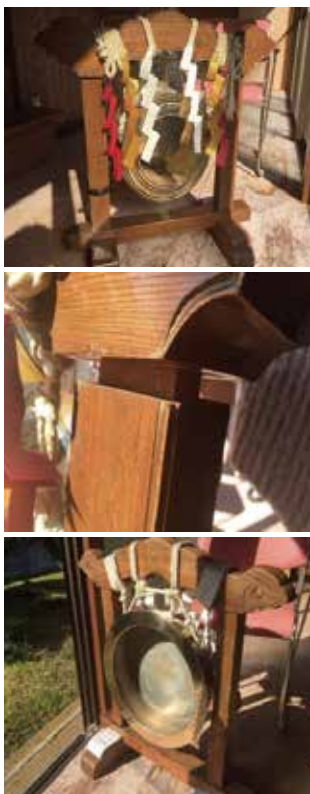


中央部分の接続箇所から上下に亀裂が入り分離しかけて
いる。及び左下部が軟化し穴が空く寸前である。
また、塗装の退色、衝撃による破損などが見られる。

亀裂部分および軟化個所の和紙の張替えを行い、再塗装
することにより再び使用可能な状態となった。

修理前

鉦の台(1)



鉦本体は平成19年に新調。周りの木製で作られた台は昭和35年に作られた物であり、接続部分の木が痩せて分離しかけている部分が数カ所ある。装飾及び塗装の破損の修理が必要である。

修理後



接続部分の補修、再塗装をすることにより再び使用可能な状態となった。

鉦の台(2)



鉦本体は平成19年に新調。周りの木製で作られた台は昭和35年に作られた物であり、接続部分の木が痩せて分離しかけている部分が数カ所ある。装飾及び塗装の破損の修理が必要である。



接続部分の補修、再塗装をすることにより再び使用可能な状態となった。

修理前



耳は部分的に毛が抜けおち下地が見えているので植毛と下地のやり直し。



中央部分のつなぎ目が亀裂が拡がりつつあるのでつなぎ目の強度補修とそれに伴う漆等の塗り直し。



長年の演舞により上下の顎部が摩耗しているののでそれに伴う金箔及び漆等の塗り直し。



全体、長年の使用による摩耗、接触で金箔の角部分等及び、赤の漆が剥がれているので、金箔及び漆等の塗り直し。

修理後



剥離した下地の塗り直し及び脱落部分の植毛完了。



亀裂部分の修復及び漆の塗り直し完了。



顎部摩耗の修繕、金箔及び漆の塗り直し完了。



角部分周辺金箔及び漆の塗り直し完了。

【修理概要】

脱落部分の植毛、亀裂部分の修復及び金箔・漆の修繕により、再び使用可能な状態となった。

修理前



全体の様子。



長年の使用により形がついた馬毛がもつれて絡まっている。



馬毛が脱落している。



馬毛を留め紐にU字に折り曲げ、縫い付けている。(簡易補修)



縫い付けられた布地に負荷がかかり、割れて露出している。



馬毛が千切れている。

修理後



簡易補修の布地を除去して、新しい馬毛で編み上げた。



【修理概要】

古くなって摩耗した馬毛をほどき、簡易補修の布地を除去して、全面を新しい馬毛で編み上げて仕上げた。

現在の状態



全体の様子



もつれ



脱落



割れ



切れ

修理予定内容

庄獅子組の油単は演舞に合わせた独自の形状であり、平面的な綿ではなく麻布を使った立体裁断である。

今回、立体裁断された貴重な生地部分は残し、抜け落ち、摩耗および日焼けにより劣化した馬毛の部分に簡易な応急補修処置ではなく、古来から使用されてきた編上げの馬毛に縫い換えを行う。



馬毛簡易補修状態



馬毛編上げ仕様

修理前



経年劣化による獅子頭全体の漆および金箔塗装の色褪せ、ひび割れが見られる。



左耳部分の平板の折れおよび毛の抜けが見られる。



右耳を覆う布の擦り切れが見られる。

修理後



ひび割れの修復および金箔、漆の塗り直しが完了した。



左耳部分の平板の折れおよび毛の抜けの修復が完了した。



右耳を覆う布の擦り切れの修復が完了した。

現在の状態

獅子頭(1)



経年劣化による獅子頭全体の色褪せ(朱赤、金箔)。両耳の平板の折れ。

獅子頭(2)



経年劣化による獅子頭全体の色褪せ(朱赤、金箔)。顎部分の損傷、両耳の平板の折れ、布の擦り切れ。

獅子頭(3)



経年劣化による獅子頭全体の色褪せ(朱赤、金箔)。顎部分の損傷、両耳の平板の折れ、布の擦り切れ。

修理予定内容

全体の塗り替え、金箔の置き換え、顎・耳の損傷部分の修繕、馬毛全体を取り換え修繕を行う。

修理前

太鼓(1)



〈表面〉
革が破損し使用できない。



〈裏面〉
革が破損し使用できない。

修理後



胴部分のヒビ等広がらないように研磨。太鼓鉦の取替。両面皮張り替え、音を調整し再び使用できる状態となった。



太鼓(2)



〈表面〉
革が破損し使用できない。



〈裏面〉
革が破損し使用できない。



胴部分のヒビ等広がらないように研磨。太鼓鉦の取替。両面皮張り替え、音を調整し再び使用できる状態となった。



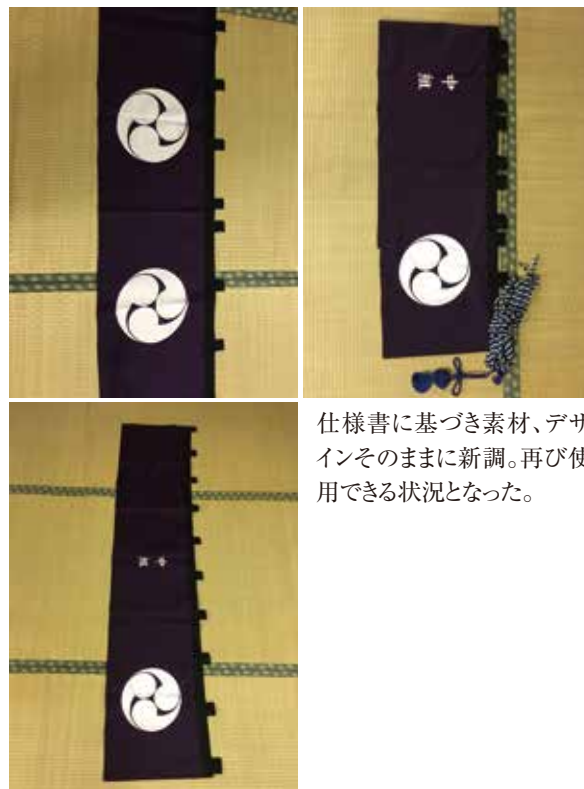
修理前

屋台膜



経年劣化により膜に破れや穴開きが生じており、修繕のできない状態まで劣化している。

修理後



仕様書に基づき素材、デザインそのままに新調。再び使用できる状況となった。

屋根膜



経年劣化により膜に黄ばみや破れが生じており、修繕のできない状態まで劣化している。



仕様書に基づき素材やデザインはそのままに新調。再び使用できる状況となった。

修理前

油単(1)



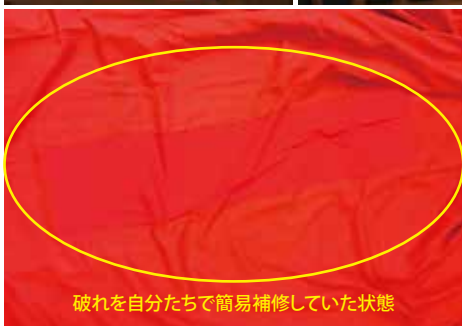
経年劣化により日焼け、金銀の剥離、破れ等発生しており使用することが困難な状態。

修理後



裏側がきれいな状態のため表裏を返し、元の部分と同様に金銀を乗せた。裏地は破れがひどく繕ってもすぐに破れるため取替。前垂れの金銀剥離部分を乗せ直し復元した。痛みの酷い部分には裏側から補強している事で使用可能な状態に修理復元がなされた。

油単(2)



経年劣化により日焼け、金銀の剥離、破れ等発生しており使用することが困難な状態。



裏側がきれいな状態のため表裏を返し、元の部分と同様に金銀を乗せた。裏地は破れがひどく繕ってもすぐに破れるため取替。特に破れの酷い部分には裏側の補強だけでは使用が困難なため表面にもあて布で補強する事で使用可能な状態に修理復元がなされた。(但し使用には注意が必要)

修理前

太鼓(1)



修理後



太鼓(2)



現在の状態



全体的に素地の痛み、漆の剥離ひび割れ、脱毛



両耳の破損台座の劣化、
内部からくりのガツキ、目の損傷



眉の脱毛箇所



金箔剥離



顎の素地、漆の剥離ひび割れ



牙の欠損金箔剥離

修理予定内容

全体的にひび割れや欠損箇所が見られるため、欠損箇所の補修と全体的な漆塗りによる修繕をする。
耳・頭・顔の脱毛が激しいため、耳の取り換えを含む、植毛、修繕をする。
目・耳・口などの可動部の動きが悪いので、修繕して作動調整をする。

修理前

太鼓(1)



皮製の膜が劣化する都度張り替えて使用。現在の膜は昭和58年に張り替え、経年劣化(34年経過)で再び膜に破れや穴開きが生じており、使用ができない状態まで劣化している。

修理後



破れや穴開きが生じていたAB両面の膜を張り替える事により、再び使用可能な状態となった。

太鼓(2)



皮製の膜が劣化する都度張り替えて使用。現在の膜は昭和58年に張り替え、経年劣化(34年経過)で再び膜に破れや穴開きが生じており、使用ができない状態まで劣化している。



破れや穴開きが生じていたAB両面の膜を張り替える事により、再び使用可能な状態となった。

修理前



修理後



獅子頭の左耳の台座が割れて、毛が剥離している。
また、耳や顎を操作する紐が切れたり切れかかっており、不用意に操作できない状況。

左耳の台座と毛を補修した。
また、耳や顎の紐を取り替え、本来の操作が可能となった。

修理前



全容塗のひび割れ、剥がれ。



牙の塗のひび割れ、剥がれ。



牙内側取付け部、ひび割れ。



鼻のひび割れ、頬の金箔剥がれ。



眉(横)のひび割れ、剥がれ。

修理後



修理前



正面眉間ひび割れ、金箔はがれ。



あご及び歯のひび割れ、金箔剥がれ。



耳取付け部分ひび割れ、馬毛抜け落ち。



内側耳取付け台のガタつき。

修理後



修理予定内容



経年劣化による獅子頭全体の下地の修繕、漆塗り、顔の毛の植え替え。



下顎及び下顎接合部、各牙の修理、全体的な破損部及び欠損部の修理。



耳及び耳台座の修理、耳の毛植毛。



目の脱落の修理、可動部のカラクリの修理。



金箔はりの修理、全体に植毛、髪、眉、髭、頬などの植毛。



金箔はりの修理、全体に植毛、髪、眉、髭、頬などの植毛。



金箔はりの修理、全体に植毛、髪、眉、髭、頬などの植毛。